

町内会単位による資源ごみ分別回収 循環型3Rを目指します!

各町内会では、ゴミの分別指導を徹底するための工夫を凝らしさまざまな取り組みをされています。先月号に引き続き、昨年モデル地区でありました西宮町、月美・緑町、下門間町内会の取り組みについて、町内会長さんなどにコメントをいただきました。

皆さんの理解と協力

一昨年7月から資源ごみ分別回収のモデル地区として、町内会の皆さんで進めてきました。町内を5ブロックに分け当番制にして、当初は分別回収内容に戸惑いもありましたが、今日では理解のもとよい回収作業が出来るようになりました。月2回の回収日は皆さんのふれあいの場となっております。

今後も、ごみ減量運動を推進していきます。



西宮町町内会長
岩田 良三さん



ゴミ出し責任の明確化



月美・緑町町内会
ごみ減量推進委員
高橋 興一郎さん

町内会による分別回収も一年半が過ぎました。分別回収スタート時、特に「プラスチック製容器包装」の回収品に商品そのものなどの混入が最大のトラブルでした。

各推進委員さんが、当番のかたやごみを持ってこられたに、それぞれ説明すると共に、袋にサインペンで姓のみを記入することで、ごみに対する責任の明確化を図りました。

この定着が、1年程前から実施中の一般ごみにもシールに記名して出し、各個人の責任と意識の向上になっていると思います。今後も、この記入方法を続けて行きたいと考えております。

ビンの分別回収がネックに!

平成17年3月、資源ごみ回収モデル地区に指定を受けて1年半経過しました。役員始め、皆さんの協力により今では分別回収が定着しました。昨年6月に分別回収を始めた時、特にビンの回収が大変で、ラベルを剥がしビンを色別に分けて分別しなければならませんでした。皆さんに回覧板やチラシなどによって事前にPRし、ラベル取りの成功に結び付いた時は皆さんと共に感動しました。

今ではラベルを取らなくても良くなりましたが、プラスチック製容器包装に課題が残り、今後の努力によりクリアしたいと考えています。



下門間町町内会長
加藤 定さん



『混ぜればごみ 分ければ資源』
1人1日100グラムごみ減量運動推進中

わずか100グラムの減量でも、全町民が取り組めば年間約800トンも燃やすごみを減らせます。(笠松町の年間焼却量は約8,000トンです。)